

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	夏祭り・忘年会・敬老会などの行事を開催し、多数の家族参加を得ることができた。しかし、家族会としての交流の場が持っていない。	家族会の開催	行事に合わせ 計画を立てる。 足を運んでもらいやすいよう 日頃の声掛けや環境を整える。	9 ヶ月
2	2	昨年度は、夏祭り・広報誌の発行と地域向けに活動を発信してきたが、今まで以上に関係作りをしていく必要がある。	地域との交流の機会を増やす (地区行事に参加していけるよう体制を整える)	行事への参加を利用者と共にだけでなく、職員が主催者側の手伝いとして参加できるようにする。それに伴い、職員体制を今まで以上に考慮する。	9 ヶ月
3	21	利用者同士の会話が少しずつ増えて来ているが、話のきっかけになるものが少ない。	利用者同士の会話が 増え、楽しみのある生活を送る	レクリエーションを充実させ、会話のきっかけを作る。	9 ヶ月
4	23	利用者それぞれが役割を持った生活ができるようにしたい。	一人一つずつ役割を持ち、張りのある生活を送る	利用者一人一人の能力を知り、できる事への可能性を探す。(日々の記録・情報の共有・ケア会議での検討)	9 ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。